

主なご意見等と区の考え方、対応（令和5年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
防災	区政会議での意見を受けて区内全域で一斉防災訓練をしたという報告があったが、自身が提案したことを実現してもらえて感謝している。これからも意見を挙げていきたい。	永松委員	一斉訓練やジュニア防災リーダーについては、引き続きしっかり実施していきたいと考えております。	地域まちづくり課
	一斉防災訓練の際、避難所での物資の所在や不足についてわからないことも多かった。ぜひ訓練の継続をお願いしたい。	北口（充）委員		
	子どもがジュニア災害リーダー（JDL）に参加しているが、その研修の内容が、防災の根幹にかかる話などもあってとても良かった。また、一斉防災訓練の際には、区役所側に入れてもらって現場を見せてもらったと聞いた。子どものうちにこのような体験をしておくことはとても素晴らしいことだと思う。	永松委員		
	ジュニア災害リーダー（JDL）の取り組みを続け、中学生に防災意識を高めていただきたい。	北口（充）委員		
	生野区災害時協力事業所登録団体について、工場、車関係の会社などはフォークリフト、工具、道具などを持っているので、災害時にすごく心強い。引き続き、登録団体を増やしていただきたい。	北口（充）委員	生野区災害時協力事業所・店舗につきましては、現在、22の事業所等にご登録いただいております。引き続きホームページ等で広く募っていきたいと考えております。	
	日常と災害時、両方の場面で使える「フェーズフリー」の防災用品について知ってほしい。例えば、防災グッズが入ったリュックを収納しておける玄関の椅子や、寝袋になるクッション、笛のついているリュック、担架になる立て看板や、かまどになる公園のベンチなどといったものがある。	萩本委員	防災につきましては、区広報紙などで特集を組むなど周知しているところですが、発災時の防災用品に関する紹介なども取り入れながら今後も取り組んでいきたいと考えております。	

主なご意見等と区の考え方、対応（令和5年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
防災	先日、摂津市で防災訓練が行われ、その中で公園のかまどベンチを使った炊き出し訓練がおこなわれた。 この他にも、その公園には防災倉庫、防災トイレなどの設備があるそうだが、大阪市でもこのような防災機能のある公園づくりに取り組んでほしい。	荻本委員	ご意見につきましては、公園整備の所管部局である大阪市建設局と共有させていただきます。	地域まちづくり課
	能登半島の地震で支援物資が足りていないという情報があるが、実際に大阪で地震が起こった場合、支援物資は足りているのか。	田村委員	備蓄物資について、市内に数か所に大きな備蓄倉庫があり、大阪府と大阪市が共同して、3日分の水や食料等を備蓄しております。災害時にはそこから物資を配送していく予定になっており、その後は他都市の支援などで対応していくと聞いております。	
	一斉防災訓練の際、簡易トイレが何台あるか確認したが、すごく少ない。プライバシーの問題もあるし、もっと防災に女性が参画していくのが大事だと感じている。	西野委員	トイレについては、簡単な凝固剤入りの携帯用トイレが各避難所等に備蓄されているほか、イベントなどで設置されているような簡易トイレが大阪市建設局で備蓄されているので、災害が起こればそれを避難所に配送していく予定になっております。	
	神戸防災センターに行ったとき、今の防災には女性の意見が少ない、反映されていないということをお聞きしたので、これからの防災について、いろんなことを反映していただきたい。	新井様	生野区では「あじさい防災パートナー」として女性にも地域の防災組織に参画していただいております。今後も、女性目線のご意見等もお聞きしながら防災力の向上を図っていきたいと考えております。	
	一斉防災訓練では、防災リーダーに配布している無線機について、実際に使えるものは約半数しかなかった。 令和6年度のまちづくり協議会の予算等で順次不足分の無線機が充足されていくだろうと思いますが、緊急時の対策本部となる区役所でも無線機の整備をお願いしたい。	三木様	生野区でも発災時の情報連携体制の重要性は認識しており、発災時はMCA無線での情報連携を想定しています。今後も、引き続き防災設備の充実や操作スキルの向上に取り組み、情報連携体制の整備に努めていきたいと考えております。	
空き家・空き地	住んでいる地域で、老朽化した空き家が増えている。行政が介入して取り壊すとか、もっと具体的に話を進めてほしい。 また、管理がされていない空き地についても、草がいつぱいで、火事があった場合にどうしてよいかかわからないので、行政側から所有者へ交渉するようにしてほしい。	粟津委員	空き家も空き地も所有者の所有物であるため、行政が直接介入して勝手に建物を壊したり、雑草処理をすることはなかなかできません。 ただ、特定空き家については危険なところがあり、所有者の調査ができるので、指導等をしていくという形になっております。相続の方が多くおられたり、所有者が故国へ帰って連絡がつかなかったりなどの問題もありますが、できる限り指導を進めてまいります。	地域まちづくり課

主なご意見等と区の考え方、対応（令和5年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
防犯	防犯カメラをつけてもらっているが、SDカードやカメラが故障したとき、どうフォローされるのかわからない。高い位置に設置されているものも多いが、低い位置に設置したほうがフォローしやすいのではないかな。 また、警察が事件や事故の対応に利用しているのみで、果たして町会の安全につながっているのか。	長谷川委員	高いところにある防犯カメラは電波を通じて映像が取れるようになっております。 防犯カメラがついていることで犯罪の抑止効果があります。また、実際に犯罪が起きた場合には、警察が活用しており、きちんと処理もされているので、ご安心いただきたい。	地域まちづくり課
通学路	この前青パトに乗って校区内を回っていたが、車が飛び出してくる四つ角があった。見守りに出てくれる人がいれば安心なのでもう少し皆さんにも協力してほしいのと、カーブミラーなどの設置なども検討してほしい。	村岡委員	子ども飛び出し注意の看板については、学校等と、警察との関係で対応しているケースと、区のほうで安全点検プログラムという形で、見守りの方や関係機関などと、通学路の危険なところを安全点検して、方策を検討しているケースがあります。 区役所も、自動車等から見えるよう電柱に巻き付けシートを設置するなどの対応をしております。 今後関係機関とともに検討してまいります。	地域まちづくり課
	通学路上に設置されている子ども飛び出し注意の看板が、腐敗してしまっている。 樹脂製にして夜光塗料等で塗れば夜間もしっかり見えるので、ぜひ設置をお願いしたい。	玉井委員		
子育て支援	産後2～3か月は特に大変な時期であり、保健師さんや助産師さんによる産後ケアを厚くしてほしい。	安委員	妊娠期から産後すぐのケアについて、妊産婦さんを孤立させないなどのとりくみとして保健師や助産師がご自宅を訪問しています。今後とも地域の皆さんやご協力いただける方々と力を合わせて、取り組んでいきたいと思っております。	保健福祉課
	義務教育を終えてから成人になる18歳までの子どもたちの問題が抜け落ちているのではないかな。 グリ下の問題などもあるので、そういった子どもたちにも手を差し伸べてほしい。	西村委員	子育て支援室では義務教育終了以降も18歳までの児童に関して、ご家族等からのご相談をお受けしております。	
ひとりもとりこぼさない支援	ヤングケアラーや中高層のケアラーの生野区の実態について知りたい。 新聞記事で読んだが、育児と介護を両方やっているダブルケアの方が全国で30万人いるということなので、もし生野区内の現状を把握しているのであれば教えてほしい。	西村委員	令和3年度に大阪市立中学生生徒を対象としたヤングケアラー実態調査を行っています。生野区の数値は公表されておらず、大阪市全体の数字としては、週に1日以上ケアをしているケースに限定した場合では、全体の6.3%となっております。	保健福祉課

主なご意見等と区の考え方、対応（令和5年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
まちの活性化・にぎわい創出	万博を契機としたまちの活性化について、「EXPOいくのヒートアッププロジェクト」プロモーション事業を委託していることだが、この事業の具体的な内容や成果について詳細を知りたい。	安委員	万博の機運醸成ということで、令和5年度から委託事業でさせていただいております。具体的には、万博500日前イベント開催や、ポータルサイトの開設など、広報紙やSNS等を活用しての周知をさせていただいたところです。また、2025年の万博開催にあわせて、区においても独自の万博「EXPOいくの」を開催する予定であり、運営主体となっただけの方々のネットワークづくりのためのミーティングや各種イベントなども随時実施いたします。 来年度は万博開催1年前になりますので、さらに広報を充実させて区民の皆さまと盛り上げて参りたいと考えております。	企画総務課
ものづくり・次世代の学校づくり	生野区内には古くからあるものづくりの企業が多いことから、子どもたちの職業体験や学校との連携を通じて、まちの魅力を発信してほしい。	倉本委員	子どもたちのキャリア教育や体験活動においては、企業・団体等にIKUNO未来教育ネットワークにご登録いただき、協力いただきながら様々な取組みを行っており、また、学校独自の取組み等とともに、X（旧Twitter）やnoteなどSNS上でも情報を発信しております。今後もこのような取組みを継続してまいりたいと思います。	地域まちづくり課
学校跡地活用	勝山小学校が廃校になるが、跡地活用のことをいう前に、耐震をどうするか考えていただきたい。	川本委員	市内の小中学校については、基本的に新耐震基準を満たしております。	地域まちづくり課
自律的な地域運営	まちづくり協議会ができて約10年が経つ。まちづくり協議会というのは本来プラットフォームであって、その下に各団体がつながっているはずだが、6年ほど前からピラミッド型の組織に変わってきて、まちづくり協議会を頂点に、各団体がその『手伝い』と担うという扱いになってきている。このままでは、各団体の魅力や主体性が失われていく気がするが、まちづくり協議会の役割の振り返りと、区役所の考え方を聞きたい。	森口委員	まちづくり協議会については、総意形成機能や準行政的機能といった役割があるので、機会を見つけて重ねてご説明を進めてまいりたいと思います。 また、まちづくり協議会に参画していただいている青少年指導員や青少年福祉委員の方々が、まちづくり協議会の中で民主的な運営の下、活躍できるような雰囲気の醸成についても、連合町会長が集まる会議の中でお願いしてまいりたいと思います。	地域まちづくり課
	青少年指導員は50歳で定年という制度になっているため、50歳で活動を辞めてしまう人が多い。本来なら福祉のほうに移行していくようだが、誰もならず、町会長にもならない。いろんな問題をまちづくり協議会に持ってくるが、10年後には担い手がいなくなると思う。	平島委員		
	まちづくりセンターについて、担当者との接点が少なく、役割や活動内容がよくわからない。まちづくり協議会は縦割りなので、本来であれば横の連携をしてくれるコーディネーターの役割を担っているものと考えていたが、ほとんど姿が見えない。 まちづくりセンターが今の機能で良いのか、他区の状況なども参考にしながら考えていただきたい。	森口委員	まちづくりセンターの支援が行き届いてないというご指摘をいただいておりますので、支援の方法について受託事業者とともに連携して支援が行き届くように努めてまいりたいと思います。	

主なご意見等と区の考え方、対応（令和5年度 第2回生野区区政会議 全体会）

主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
その他	子ども支援について力を入れていくということよく聞くと、高校生世代以降の若者についても、居場所や活動の支援といった取り組みの強化を検討していただきたい。 また、子どもや若者の参画機会の創出、出前型区政会議などについて検討してほしい。	川中委員	若い世代の方々の自由かつ柔軟な発想や意見を聴取し、行政として理解を深め、施策・事業展開を検討していくことは大変重要であると考えております。ぜひ、将来の生野区を担う若者の思いやご意見をお聴きする機会を設けることについて検討してまいりたいと思います。	企画総務課

その他のご意見等				委員名
ひとりもとりこぼさない支援	不登校、障がい、外国人の子どもたちについて、支援の対象というだけでなく、一緒に住んでいるパートナーとして協働していくような形で何か施策ができたらと思う。			今井委員
	生野区内には支援学校が2つあるが、地域に溶け込んでいない感じがある。発達支援だけでなく、視聴覚や肢体不自由などの子どもたちの支援などで、地域で取り組めることについて何か話し合いができればいいと思う。			塚本委員
	小学校も中学校も、年々不登校の児童生徒が増えていっているように感じる。学校だけでなく、行政、地域、私たち大人も含めて、いろいろと子どもの言葉を聞きながら、一人一人に異なる対応ができて、一人でも多くの子どもが学校に戻れる日が来るように努力していきたい。			福田委員
子どもの見守り	子どもの登校を見守る朝の見守り隊をやっているが、学校に間に合いそうにない時間に家を出てくる子どもたちがいる。家庭の事情といえどもそれまでだが、家庭でも、親御さんに声かけしてもらえるような環境づくりができればいいと思う。			北口（英）委員
高齢者の見守り	高齢者の孤独死をどう防ぐか、高齢者の見守りが問題になっている。現在高齢者の問題を10件ほど抱えているが、地域でいろいろつなげるシステムが構築できて、解決もできている。しかし100%ではないので、なんとかして孤独死を防ぎたいと思っている。			多田様
	地域で高齢者の見守りを強化していこうと話合っている。 回覧板が止まっている、電気がついたままになっているといったことがあれば、みんなで連絡し合いながら見守っていこうとしている。 また、地域で「家族カード」というのを作っているが、非常時はとても役に立った。プライバシーの塊なので保管等が難しいのが難点。			和田様
	高齢者の見守りについて、地域で長く、いろいろなことを知っている方々の力がなければできないことだと思っている。 今日の皆さんの熱い思いも一緒にボランティアの人たちに伝えていきたい。			伊藤様
多文化共生	これだけ外国人が多いといわれている中で、居住実態やコミュニティの形成状況が把握されていないということに驚いた。人権・多文化共生の予算が令和6年度に大幅に増えているので、そういったところに使われることを期待している。			西村委員
	防災や減災の取り組みも、外国人のコミュニティと一緒にできないか。 いろんな国の料理の炊き出しをすとか、そこに子どもを巻き込むなど、何か一緒にできたらいいと思う。			今井委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和5年度 第2回生野区区政会議 全体会）

その他のご意見等		委員名
まちの活性化・にぎわい創出	行政と民間の距離感が遠いので、もっと縮めるような施策が重要になるのではないかと。 生野区内だけでなく、外の人も呼び込んでプレイヤーを育てていく必要があると思う。自身も生野区の空き家再生に携わっているが、生野区はチャレンジする機会が豊富であると感じる。そういったことを発信して、プレイヤーをはぐくむ環境が作れたらと思っている。	廣川委員
学校跡地活用	事業者と地域の間でいろいろな意見が出るのは当然のことで、お互いが本音で話し、もうまくいかなかったとしても、しっかりと話し合いを続けて、どこの部分が相入れられないのか、どこの部分であればうまく調整可能なのかとを根気よく擦り合わせていけば、解決につながるのではないかとと思う。	須郷委員
	御幸森の跡地事業者の公募要件には、スポーツ等の教室など講堂を使うなど、地域に開放することが前提であった。事業者との使用時の備品破損の補償などのルール整理に時間がかかっているとのことだが、いまだに地域に開放されておらず、すでに2年経過している。	安委員
地域公共交通	生野区内にシェアサイクルが増えて喜んでいるが、まだシェアサイクルが普及していない地域もあるので、連携事業者との連携強化を通じて、アクセスのよさを追求してほしい。	倉本委員
	オンデマンドバスのバス停が新たにできたが、連合のほうには何の連絡もなかった。町会長や女性部長、福祉コーディネーターが知っていたら、より住民の役に立つと思う。	西村委員
自律的な地域運営	まちづくり協議会の運営について、日頃から大丈夫かなと思っている。町会長さんたちが高齢になってきているが、町会長の役割や次の担い手問題について住んでいる住民の人たちに理解してもらえていない。中間の年齢の私たちが上手に引き継いで、次の世代につなげていきたい。	中村（寛）委員
その他	生野区が住みたいと思うようなまちになるよう魅力を考えていきたい。	島本委員
	地域組織でもそうだが、どうしても地域活動の担い手は男性中心であり、女性の人たちが進んでやりたいといった時に受け入れられるシステムになっていない。地域活動や子どもの支援活動に、子育てや介護など様々なことを担っている女性が柔軟に参加できるように、行政側から配慮やアドバイスをおこなってほしい。	足立委員
	近鉄鶴橋駅の高架下の耐震補強工事が終わったが、いまだに白い鉄板に囲われて、ターミナル駅とは思えない汚い駅になっている。きれいにして開放していただけるよう、区役所からも働きかけてほしい。	森口委員
	生野をごみのないきれいな街にしていくことは、防災・防犯、地域福祉、人権・多文化共生すべてに共通することであり、一人一人ができるような、施策につながるようなことがなされていくといいと思う。	中村（一）委員
	区政会議で議論されている内容について、同じような話を連合町会長としてもよく耳にする。直接役所に伝える機会なので、もっと意見をあげていただきたい。	田中様